

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 7日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県小山市城山町1-3-26
氏 名 株式会社 板橋組
代表取締役 齊藤 純夫
電話番号 0285-22-2255

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 板橋組
事業場の所在地	栃木県小山市城山町1-3-26
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業(0611)
②事業の規模	元請完成工事高 56億円
③従業員数	70人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（4年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
排出量	別紙3の通り t	t

(これまでに実施した取組)
余分な廃棄物を排出する事の無いよう管理を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
排出量	別紙3の通り t	t

(今後実施する予定の取組)
発生量は受注される工事によって左右されるが、余分な廃棄物を排出しないよう管理を徹底する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
各工事物件毎に発生する廃棄物の種類を特定し、種類毎にコンテナ等を設置して分別を行う。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現状の取組を継続して行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	（これまでに実施した取組） 公共工事において、「再生資源利用促進計画」に基づき実施している。 民間工事においても顧客と打合せを行い、再生材を使用できるよう調整を行う		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	（今後実施する予定の取組） 公共・民間においても現状取組を継続して行う。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
（これまでに実施した取組） —			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
（今後実施する予定の取組） —			

(第4面)

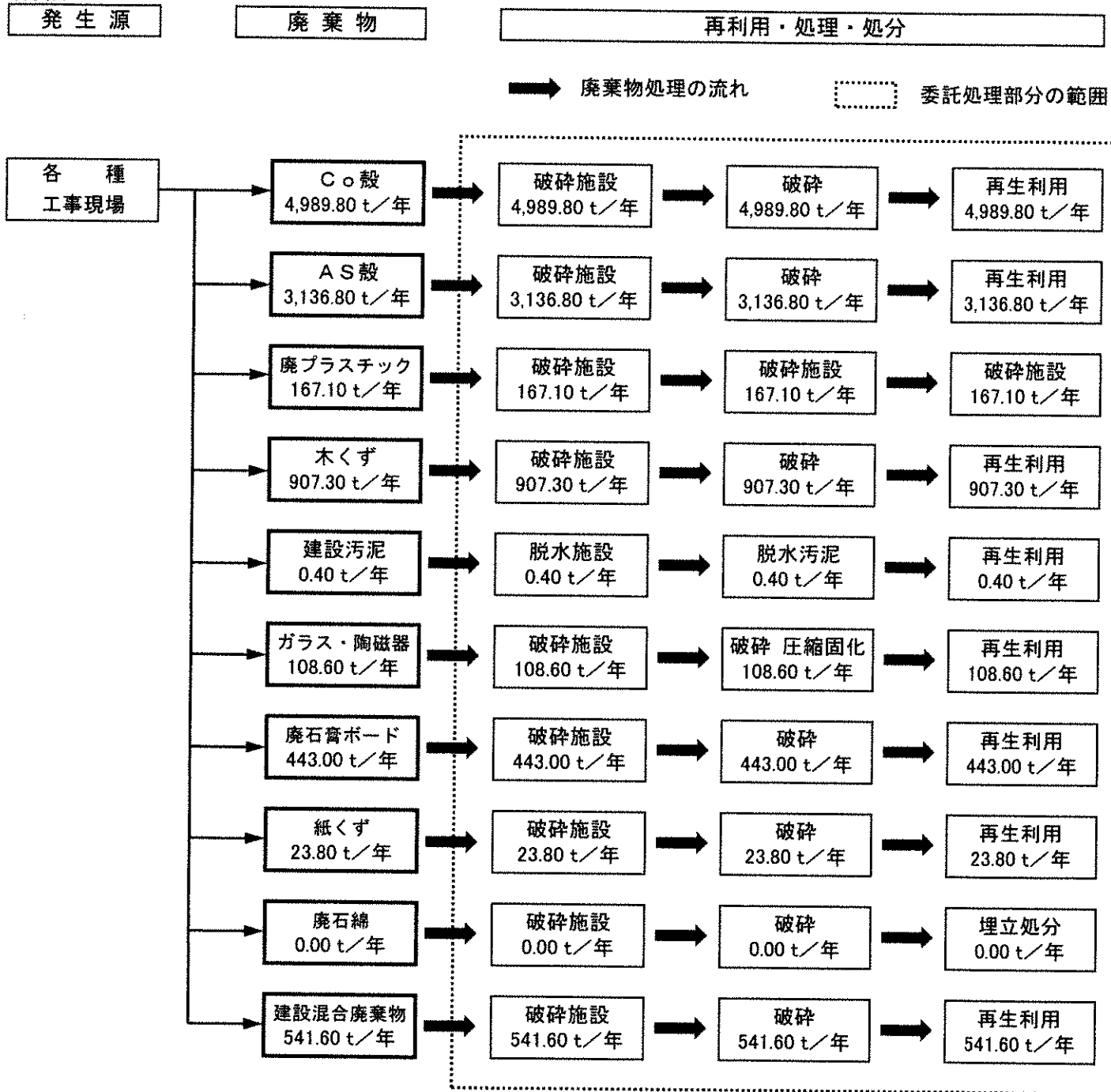
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
—			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
—			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
再生利用を行う中間処理業者に処理を委託し、リサイクルを推進してきた。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) これまでの取組を継続する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

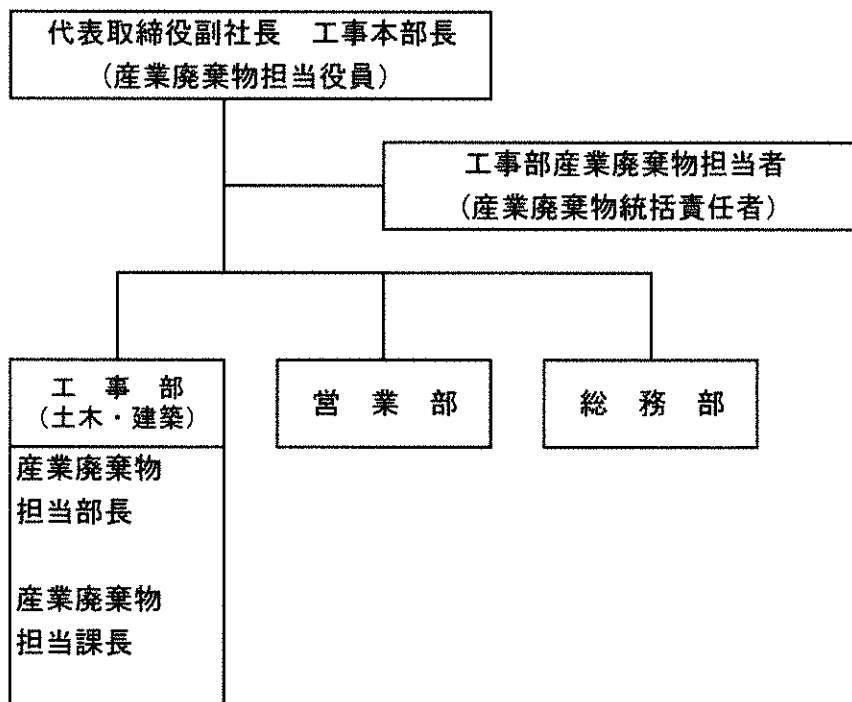


別紙 2

〈産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項〉
管理体制図

統括責任者	所 属： 工事部	職・氏名：代表取締役副社長 工事本部長
廃棄物担当	組 織 名：工事部産業廃棄物担当者	職・氏名： 組織人数：2人
役割	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認
	廃棄物管理担当部長	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○マニフェストの管理状況の把握及び管理 ○処理業者の調査、選定及び管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

《 廃 棄 物 管 理 組 織 》



《前年度の産業廃棄物の目標》

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
9,600.00	10,100.00	68.00	777.00	3.00	34.00	183.00	13.00	4.00	280.00

《本年度計画の実施状況》

①産業廃棄物発生量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
4,989.80	3,136.80	167.10	907.30	0.40	108.60	443.00	23.80	0.00	541.60

②自己直接再生利用量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③自己直接埋立処分又は海洋投入量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

④自己中間処理量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

⑤自己中間処理残さ量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

⑥自己中間処理後再生利用量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

⑧直接委託及び自己処理後委託処分量(t)

CO般	AS般	廃プラスチック	木くず	建設汚泥	ガラス・陶器くず	廃石膏ボード	紙くず	廃石綿	建設系混合廃棄物
4,989.80	3,136.80	167.10	907.30	0.40	108.60	443.00	23.80	0.00	541.60

産業廃棄物の種類 及び実績、目標別	コンクリートがら		アスコンがら		その他がれき類	
	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t
排出処理の区分	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
排出量	4,989.80	4,242.00	3,136.83	2,666.00	119.30	101.00
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入 処分量						
全処理委託量	4,989.80	4,242.00	3,136.83	2,666.00	119.30	101.00
優良認定処理業者への処理 委託量						
再生利用者への処理 委託量	4,989.80	4,242.00	3,136.83	2,666.00	119.30	101.00
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者						
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量						

別紙3 令和4年度実績値及び令和5年度目標値

産業廃棄物の種類 及び実績、目標別	ガラス・陶磁器くず		廃プラスチック類		金属くず	
	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t
排出処理の区分	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
排出量	108.60	93.00	167.10	142.00	46.00	39.00
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入 処分量						
全処理委託量	108.60	93.00	167.10	142.00	46.00	39.00
優良認定処理業者への処理 委託量						
再生利用者への処理 委託量	108.60	93.00	167.10	142.00	46.00	39.00
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者						
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量						

産業廃棄物の種類 及び実績、目標別	建設汚泥		紙くず		木くず	
	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t
排出処理の区分	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
排出量	0.40	0.30	23.80	20.00	907.30	771.00
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入 処分量						
全処理委託量	0.40	0.30	23.80	20.00	907.30	771.00
優良認定処理業者への処理 委託量						
再生利用者への処理 委託量	0.40	0.30	23.80	20.00	907.30	771.00
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者						
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量						

別紙3 令和4年度実績値及び令和5年度目標値

産業廃棄物の種類 及び実績、目標別	廃石膏ボード		混合廃棄物		廃石綿	
	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t	実績 t	目標 t
排出処理の区分	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
排出量	443.00	377.00	541.60	461.00	0.00	0.00
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入 処分量						
全処理委託量	443.00	377.00	541.60	461.00	0.00	0.00
優良認定処理業者への処理 委託量						
再生利用者への処理 委託量	443.00	377.00	541.60	461.00	0.00	0.00
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者						
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量						

産業廃棄物の種類 及び実績、目標別 排出処理の区分	廃油		廃アルカリ			
	実績 t R3年度	目標 t R4年度	実績 t R3年度	目標 t R4年度		
排出量	0.50	0.40	1.20	1.00		
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入 処分量						
全処理委託量	0.50	0.40	1.20	1.00		
優良認定処理業者への処理 委託量						
再生利用者への処理 委託量	0.50	0.40	1.20	1.00		
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者						
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量						